

## 住宅火災から命を守る5つのポイント

令和5年中の名古屋市における火災による死者の約7割が、**住宅火災**で発生しております。そのうち約8割が65歳以上の高齢者の方でした。また、約7割が**逃げ遅れ**の方です。

死因の多くは**焼死・煙による一酸化炭素中毒や窒息**です。

コンロのそばを離れるときは、必ず火を消しましょう！

### ①火災を出さない

- ・コンロは火をつけたまま離れない。
- ・タバコは火を確実に消してから捨てましょう。
- ・仏壇のろうそくや線香は、火をつけたまま離れない。



### ②早期発見

住宅用火災警報器は、火災により発生する煙又は熱に反応して警報音や音声で、火災の発生をいち早く知らせるものです。

- ・住宅用火災警報器を設置し、定期的に点検を行ってください。

### ③早期消火

消火用スプレーや家庭用消火器を設置し、取扱いができるようにして火災に備えましょう。

- ・炎が天井又は自分の身長以上に達するまでが消火できる目安です。
- ・煙が広がってしまった場合は、無理せず避難しましょう。

### ④早期避難

煙は水平方向に歩くスピードで進みます。上方向にはその5倍の速度で進みます。

- ・お年寄りや体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し備えておく。
- ・エレベーターは閉じ込められる可能性があるため使用しない。
- ・煙の中を避難するときは、できるだけ姿勢を低くして、濡れたタオル等で口や鼻をおおい、床を這うように逃げましょう。
- ・いったん外に逃げ出したら、再び中には戻らない。

### ⑤早期通報

- ・火災や煙が迫ってきたら、迷わず避難して安全な場所から119番通報を行いましょう。

## ◆北区内

○ 6 月中に発生した火災・救急・救助

火 災		救 急		救 助	
当 月	前年当月	当 月	前年当月	当 月	前年当月
1 件	0 件	968 件	892 件	15 件	15 件

○ 火災概要

発生日	学 区	発生場所	種 別	災害概要
6月5日	名北	織部町1丁目地内	建物	共同住宅の一室から出火 延焼なし・死者なし・負傷者1名

○ 昨年中との比較（1月1日～6月30日）

区 分	火 災			死 者 (人)	負 傷 者 (人)	救 急	救 助
	件 数	建 物	建物以外				
令和6年	17	11	6	0	3	5,840	119
令和5年	18	7	11	0	4	5,746	125
増 減	▲ 1	+4	▲ 5	0	▲ 1	+94	▲ 6

## ◆名古屋市

○ 6 月中に発生した火災・救急・救助

火 災		救 急		救 助	
当 月	前年当月	当 月	前年当月	当 月	前年当月
43 件	37 件	12,308 件	12,691 件	188 件	194 件

○ 昨年中との比較（1月1日～6月30日）

区 分	火 災			死 者 (人)	負 傷 者 (人)	救 急	救 助
	件 数	建 物	建物以外				
令和6年	255	170	85	7	48	75,877	1,286
令和5年	291	180	111	17	61	72,416	1,192
増 減	▲ 36	▲ 10	▲ 26	▲ 10	▲ 13	+3,461	+94

○ 学区別火災統計（1月1日～6月30日）

学区	火災件数	建物		死者 (人)	負傷者 (人)
		建物	建物以外		
六郷	0	0	0	0	0
六郷北	1	0	1	0	0
飯田	0	0	0	0	0
宮前	1	0	1	0	0
名北	1	1	0	0	1
辻	0	0	0	0	0
杉村	1	1	0	0	0
大杉	0	0	0	0	0
清水	4	2	2	0	0
金城	2	2	0	0	0
東志賀	2	2	0	0	1
城北	0	0	0	0	0
光城	2	1	1	0	1
川中	1	1	0	0	0
味鋺	2	1	1	0	0
西味鋺	0	0	0	0	0
楠	0	0	0	0	0
如意	0	0	0	0	0
楠西	0	0	0	0	0
合計	17	11	6	0	3

(注) 救急・救助にあつては、出動件数であり、市外への出動を含みます。  
令和6年6月30日現在の速報値です。

○ 災害予防一〇メモ

- コンセントにプラグを接続する際、アース線などの異物を挟んだり、接続が緩んだりすると火花が発生して火災になる恐れがあり、市内でも、壁が焦げる、プラグや電源コードが溶けるという事案が多く発生しています。
- 周囲に燃え易い物があれば、瞬く間に燃え広がり、感電するという危険もあるため、異物がないか確認し、プラグを確実に差し込んで使用してください。

○ 北区内過去3年間の火災・救急・救助の状況（1月1日～12月31日）

区分	火災			死者 (人)	負傷者 (人)	救急	救助
	件数	建物	建物以外				
令和5年	31	16	15	0	6	12,305	246
令和4年	31	21	10	3	13	11,297	195
令和3年	21	11	10	2	4	10,014	182

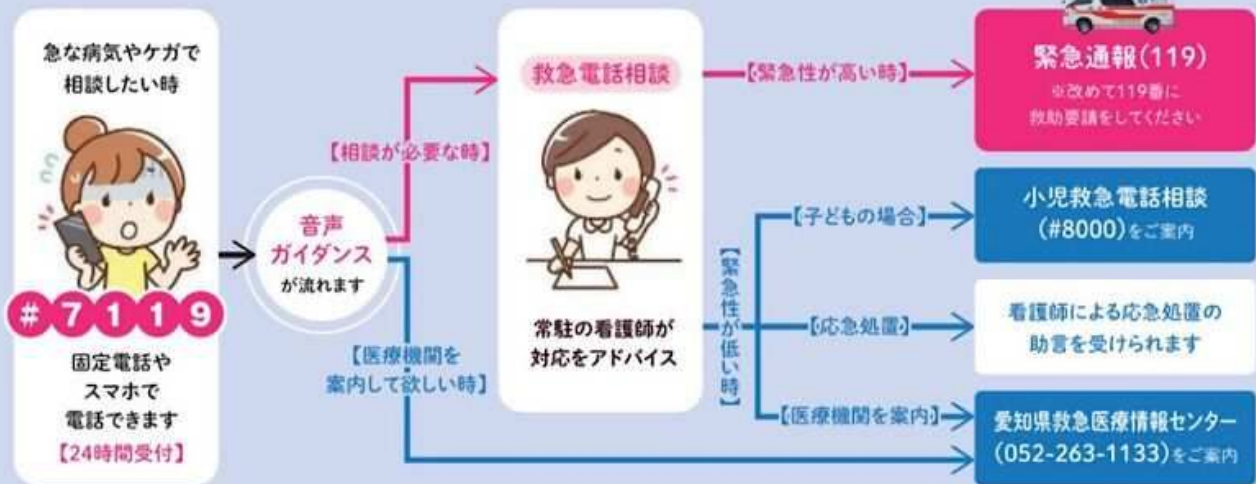
○ 名古屋市内過去3年間の火災・救急・救助の状況（1月1日～12月31日）

区分	火災			死者 (人)	負傷者 (人)	救急	救助
	件数	建物	建物以外				
令和5年	550	355	195	20	120	155,776	2,508
令和4年	508	335	173	17	123	146,609	2,235
令和3年	468	289	179	11	108	123,229	1,820

（注）救急・救助にあつては出動件数であり、市外への出動を含みます。

## 救急安心センターなごや # 7 1 1 9

### 救急安心センターなごや #7119 のしくみ



急な病気やケガをした時に、「今すぐ病院に行ったほうがよいか」、「救急車を呼んだほうがよいか」など判断に迷った際に、24時間365日体制で看護師等からアドバイスを受けることができる相談窓口です。市内在住又は滞在されている方が利用でき、英語、中国語など21カ国語に通訳を介して対応しているので、外国人の方でも利用可能です。

【期待される効果】

- ☆迅速な救急出動につなげる安全の提供
- ☆救急電話相談による安心の提供
- ☆救急医療機関の受診を適正化し、搬送困難事案の減少



【運用開始日】令和6年7月1日